





『野をわたる風にのる』
アンネ・メッラー/文 絵 今泉 みね子/訳 (岩波書店)




植物が子孫を残すためのたくみなしかけを、美しいイラストで紹介する科学絵本。アザミ、トネリコ、シラカバなど、ドイツやスイスなど中部ヨーロッパに生えている植物について知ることができます。読み聞かせにもぴったり。

『富士山大ばくはつ』
かこ さとし/作 (小峰書店)




富士山はなんども爆発をくりかえしながら、今見られる姿になりました。古富士の出現や、新富士の完成、各時代の爆発の様子、現在の豊富な自然、そしてこれから起こるであろう爆発など、若い火山・富士山の姿を紹介します。

『トイレをつくる未来をつくる』
会田 法行/写真・文 (ポプラ社)




この扉は、子どもたちの未来へとつながっている。トイレは、ただうんちをするだけの場所ではないのだ。東ティモールのトイレを通し、環境づくりの大切さを描く写真絵本。

『蒼とイルカと彫刻家』
長崎 夏海/作 佐藤 真紀子/絵 薬師寺 一彦/協力 (佼成出版社)



家族や友だちとの関わりの中で自己の在り方に悩む蒼は、カズさんという彫刻家との出会いを期に成長していく。少年のひと夏を爽やかに描いた感動作。

『金色のキャベツ』
堀米 薫/作 佐藤 真紀子/絵 (そうえん社)




夏休み、あたしは両親にないしょで、大好きな仁ちゃんのはたらくキャベツ畑へ行った。そして、テストもピアノの発表会もない高原の畑で、「キャベツで生きてる」人たちに会った。大地に根差した物語。

『シヨクパンのワルツ』
ながす みつき/作 吉田 尚令/絵 (フレーベル館)




いじめられっ子の小学生・ユウキが出合った、1匹の子犬。「シヨクパン」と名づけたその子犬と心を通わせ、幸せな時間をすごしていたユウキにクラスメイトの悪意がおそいかかる…。シヨクパンとユウキの、闘いの物語。

『その景色をさがして』
中山 聖子/著 (PHP研究所)



母親を亡くし、祖父母と一緒に暮らす中学2年生のトーコ。ある日トーコは、母親のノートに挟まれていた1枚の見覚えのない絵ハガキを見つけ…。肉親との別れ、恋などを通して成長する女の子の姿を描く。


『旅のくつ屋がやってきた』
小倉 明/作 小林 ゆき子/絵 (アリス館)



小さなホテルに旅のくつ屋がやってきた。バド少年はくつ屋のあやしい行動を目撃。果たして正体は？ くもりのない少年の心が真相を解くかぎになる、手に汗にぎる物語。




『ひいな』
いとう みく 作 (小学館)




小学校4年生の由良は、母親の長期出張の間、祖母の家に預けられることになる。祖母が住むのは、季節がくると、町中がひな人形で飾られるおひな様の町だ。女の子の幸せを願う“ひな祭り”に出会ったちょっと不思議な物語。

『ぼくたちのおばけ沼』
中村 淳/著 藤本 四郎/絵 (汐文社)




東京から引っ越してきて、クラスになじめないぼくと、クラスのきらわれもののヒロアキ。そんなふたりの「ひとりぼっち」は、釣りを通じ、友情を深めていく…。子どもたちを勇気づける物語。

『真夜中の商店街』
藤木 稟/作 徳永 健/絵 (講談社)




すてきな商品と、あなたの嫌いなもの、交換します。町はずれの商店街にあるのは、世にも不思議なものばかり。真夜中2時。友也・秀夫・楓・メイは、商店街に行くために集まった。そこにしかないものを手に入れるために…。

『林業少年』
堀米 薫/作 スカイエマ/絵 (新日本出版社)




代々続く山持ちの大沢家の長男・喜樹は、祖父・庄蔵の期待を一身に受けていた。家族から「干物」と陰口を叩かれる庄蔵だが、木材取引の現場では「勝負師」に変身する。百年杉の伐採を見届け、その重量感に圧倒された喜樹は…。

『骨董通りの幽霊省』
アレックス・シアラー/著 金原 瑞人/訳 西本 かおる/訳 (竹書房)



幽霊省は1792年にできたイギリスの政府機関。幽霊が本当にいるかをつきとめようと、地道に活動を続けてきたけれど、あと3か月で幽霊を見つけないと取りつぶされてしまう。そこで幽霊探しのアルバイトを募集するが…。

『ぼくのなかのほんとう』
パトリシア・マクラクラン/作 若林 千鶴/訳 たるいしまこ/絵 (リーブル)



ロバートはお母さんともっといろんなおしゃべりや体験をしたいのに、音楽家で個性的なお母さんは、ロバートとの距離を縮めません。お母さんをうんと求めているのに、言葉に出せないロバートは…。

『マクブルームさんのすてきな畑』
S.フライシュマン/作 Q.ブレイク/画 金原 瑞人/訳 (あかね書房)



種をまくと、あっというまに実がなるマクブルームさんの畑で、つぎつぎとおこる不思議なできごと。正直者で有名なマクブルームおじさんが語る、正真正銘ほんとの話。大阪弁で楽しく読める、奇想天外な物語。*

貸し出し中の本は
予約も出来ます。
詳しくは職員に
お尋ねください。

